

洗馬っ子だより

塩尻市立洗馬小学校

学校だより 第6号

令和4年10月4日

文責 保坂 尚貴 (教頭)

「近未来への招待状」～誰もが幸せに暮らせる未来へ～

9月28日の校長講話で、校長先生が実演を交えて次のようなお話をしてくださいました。

おはようございます。今年度第2回目の校長講話です。今朝のお題は（近未来への招待）です。今やPCやタブレット、スマホは、日常的に当たり前使用する時代になりました。

また、小学校でもプログラミング学習を行う時代となりました。これが発展していくと、画面にあるような、より専門的で本格的なプログラミングへと繋がっていきます。

現在日本では、近未来（近い将来）の姿を（Society5.0）という言葉を使ってイメージしています。なぜ5.0かと言うと、日本の歴史をたどってみると分かります。

（資料1）

現代は（Society 4.0）の時代ですが、必要な情報を見つけて分析・共有することが困難な状況です。さらに少子高齢化や地方の過疎化などで人的負担も大きくなっています。その負担を軽減する方法として日本政府は、IoT（Internet of things）、AI、クラウド、ドローン、自動走行車・無人ロボットなどの活用を推進しています。最新テクノロジーを活用することにより、最終的には少子高齢化・地域格差・貧富の差などの課題を解決し、一人ひとりが快適に暮らせる社会を実現することが「Society 5.0」の真の目的となります。

では、実際どんな生活を目指しているか、上白石萌音さん主演の動画で見てみましょう。この動画は4年くらい前に作られたものですが、私は初めてこの動画を見た時、こんな世界が実現するのはまだまだ先の話だろうと思っていました。でもたった4年しか経っていないのに、すでに実用化されていることがたくさんあってびっくりします。（動画視聴）

どうでしたか？未来の姿がどんどん近づいてきていることが分かったと思います。

さて、動画の中でドローンが出てきましたが、今やTVを見ているとドローンによって撮影された映像がたくさん出てきますね。2年前、校庭で私がドローンで全校写真を撮ったことを覚えていますか？今日は久しぶりに登場させます。今は特に資格がなくてもドローンを飛ばせますが、最近事故が増えてきているため、車のように免許が必要になるだろうと言われています。また、ドローンは機種によって性能が違うため性能をよく理解することと、ルールを守らなくてはけません。

（資料2）私のドローンの主な性能

1：最高速度 時速 68.4km 2：1個のバッテリーで飛べる飛行時間 約 20分 3：写真や4K動画撮影が可能
4：前後の障害物を自動的に避けることができる 5：スマートチャプター（手のジェスチャーで操作できる） などです。

◎注意点（ルール）は

1：原則

① 日中に飛行させる ② 人や車両などと距離を保つ ③ イベント会場上空は飛行させない

2：飛行禁止区域

① 国会議事堂 ② 内閣総理大臣官邸 ③ その他の国の重要な施設等 ④ 外国公館 ⑤ 原子力事業所

3：飛行許可が必要な空域

① 空港などの周辺空域 ② 人または住宅の密集している地域上空 ③ 地表または水面から150m以上の空域

ではこれからドローンを飛ばして、ちょっとおもしろい機能を見せますね。

（実演：コントローラーなしでスマートチャプター機能を使い、ハンドサインで操作）

このように世の中は刻々と変化していますが、大切なことは、東京のような都会も、山の中の自然豊かな村も、全部含めて「日本の未来が誰にとっても幸せなものになること」だと思います。

今朝は、近未来の生活について話をしました。



CAPおとなワーク



9月6日の参観日・CAPおとなワークには、午前・午後に分かれているにも関わらず、多くの皆様にご参加をいただき、ありがとうございました。

「CAPしなの」の皆様から、子どもたちがいじめや犯罪などの様々な暴力から自分を守るために大切なことや大人の関わり方について、体験や役割演技なども交えて教えていただきました。参加した方からは、「子どもの学習と同じ内容を体験できたことで子どもと共有できる」「とてもよい内容だったので、より多くの方に聞いてほしい」等の感想が寄せられました。3年生から5年生の子どもたちも、同じ内容を学習しましたので、どんな内容であったか、お子さんがいる方はぜひ聞いてみてください。次回の開催は3年後で現1・2年生が対象となります。

学校保健委員会

9月21日には学校保健委員会を開催し、PTA理事・学年部・文化厚生施設部の皆様にご参加いただきました。参観日から続けての参加となりましたが、多数のご参加をいただきありがとうございました。

今回の委員会では、姿勢の保持ができてくいや転倒でのけがが増えている現状から、穂苅整形外科リウマチクリニックの巢山祐介先生をお招きして「姿勢づくりのコツ」について講演をしていただきました。講演では、姿勢は体だけでなく脳や心にも大きな影響を与えるということや、立位や座位の良い姿勢のポイントを教えていただきました。保護者の皆様の感想を一部紹介します。



- ・大人も子どもにとっても共通の話題になるようなテーマで良かった。子どもの姿勢が気になっていたため、時間を見つけて体操を取り入れたい。
- ・子どもは野球をやっているのでチームに活かしていきたい。
- ・タブレットやゲームをする機会が多くなってしまってここ数年姿勢が気になっていたため、姿勢づくりのポイントやコツを教えていただけ、今月からでも楽しみながらやってみようと思う。
- ・家でこまめにストレッチをすることに家族で取り組んでいきたい。
- ・日頃から自分も含め子どもの姿勢が悪いことが気になっていたため体幹だけでなく学習や情緒の面にも影響することがわかったので、家でできることをして心も体も豊かになってほしい。

各ご家庭でも、お子さんの姿勢についてぜひ確認してみてください。

(確認のポイントは10/3配信の保健だよりに掲載されています)